

例年、学校評価委員会を開催し、協議の中で評価していただく方法を取っておりましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への感染防止の観点から、学校評価委員の皆様には文書開催の形で評価していただき、学校関係者評価に代えさせていただきました。

下記の「令和2年度 学校評価委員会（まとめ）」は、学校評価委員の皆様方よりいただきましたご質問やご意見、ご助言等の主なものについて回答させていただきました内容をまとめたものです。

令和2年度については、これを以って、令和2年度の学校関係者評価とさせていただきます。

### 令和2年度 学校評価委員会（まとめ）

#### 【郡山学院高等専修学校について】

就職内定で、就労支援に入った生徒のその後就職（就労）状況の追跡調査等は実施されていますか。学院の差別化のためブランディングを図るとありますが、具体的にどのようなことをしていく考えですか。 （佐藤 敬）

（回答）

- \* 就労支援で就職活動をする生徒は毎年数名います。県中の就業・生活支援センター「ふっとわーく」に毎年お世話になっていますので、就労支援施設で働いている卒業生の動向は教えていただいております。
- \* 学院には、中学校時に不登校であった生徒、支援クラスに在籍した生徒、中学校まで学習に自信がない生徒が多く在籍しております。  
学院は「資格取得に特化して、さらに不登校だった生徒や障害をもった生徒が安心して落ち着いて学校生活をおくることができる学校」と、中学校の先生と保護者の方にアナウンスしています。
- \* 今年3月に卒業した生徒の中学校での欠席日数と学院での欠席日数の比較と、取得した資格と学年平均、卒業後の進路先を、氏名と中学校を明示しないでシャッフルして資料を作成し中学校の先生と保護者に説明しました。

退学率など課題を明確にして改善に取り組んでいこうとする姿勢を感じることができます。 （三部 吉久）

（回答）

- \* 退学者5名以内と毎年目標を立てております。特に中学校で不登校だった生徒が、入学式と2、3日しか登校できずに退学する生徒が数名います。学校でカウンセリングを実施していますが、心療内科等での受診・服薬が必要な生徒です。少子化の中で定員を確保するためには、入学後に登校できるか確信が持てない生徒も合格させています。入学前三者面談やカウンセリング、声かけ等に努力して退学者の減少に努力いたします。

少子化が進む中、生徒数の確保はなかなか難しいと思います。退学者を無くすことも大切です。愛宕神社への清掃ボランティア活動について「郡山学院高等専修学校ボランティア活動」ののぼりを作り、清掃活動を社会にアピールするのも大切だと思う。（竹内 寛介）

（回答）

- \* 清掃ボランティアや「第九コンサート」ボランティアについては、ボランティアを実施している画像をホームページに掲載しております。

#### 【ケイセンビジネス公務員カレッジについて】

コロナ対策としてWEB活用やZOOMの体験などICTへの取り組みは評価できる。ただ、こうした取り組みをどのように現役高校生へPRしているのか。厳しくなる入学者確保に向けてさらなるPR活動が必要と思う。（佐藤 敬）

（回答）

- \* 本校ホームページにて学校の取組みについての情報発信や体験授業・出前授業等においてさらなるPRをまいります。

ビジネス系学科の就職内定率7年連続100%達成などは、学生一人一人に丁寧に向き合いながら人づくりに取り組んでいる成果だと思います。（三部 吉久）

（回答）

- \* これからも学生の進路実現に向けて取り組んでまいります。

公務員の合格率・就職内定率は素晴らしいと思います。郡山学院と連携を強化して、学院からケイセンへの進学率を高くすることも大事だと思う。（竹内 寛介）

（回答）

- \* 郡山学院とケイセンとの連携をさらに深めて進学率を高めるよう努力してまいります。

#### 【財務状況について】

環境の変化に合わせてコントロールされていると思います。今後必要となる設備投資のタイミングについても長期的・計画的に行っていただければと思います。（三部 吉久）

（回答）

- \* 今後、学生募集に合わせての計画を行ってまいります。

#### 【その他】

教職員の確保・充足をどのようにされていくのか、欠員補充ではなく、長期的プランが必要ではないでしょうか。（佐藤 敬）

丁寧な人づくりを維持できるように、教職員の働く環境の整備と教員の質の充実もお願いします。  
(三部 吉久)

教育施設設備は時間をかけ少しずつやっていくしかないと思います。職員の補充も同じです。今は、コロナ対策に全力をつくすことが大切だと思います。  
(竹内 寛介)

(回答)

- \* 教職員の確保・充足に向けて、本校ホームページ等においても求人を行っています。今後とも優秀な人材確保に努めてまいります。
- \* 教員の指導力向上に向けては、各種研修会への参加、教材研究等の充実を通してさらににらに努めてまいります。

学院とケイセンの学校ごとの特性を活かして、一つの学校として他校ではない学校づくりを考えていただき、他校との差別化を図ってください。  
(大内 健広)

(回答)

- \* 学院及びケイセンの効果的な連携、それぞれの魅力を活かし、今後とも学校づくりに努力してまいります。